

年 報

第 37 号

—令和 4 年度—



広島県立みよし風土記の丘
みよし風土記の丘ミュージアム
(広島県立歴史民俗資料館)

御挨拶

広島県立みよし風土記の丘及び広島県立歴史民俗資料館は、昭和54年のオープン以来、世代を越えて多くの皆様に「学びとやすらぎの場」として御利用いただいています。

みよし風土記の丘は、約30haの自然の中に点在する176基の史跡浄楽寺・セツ塚古墳群を中心に、復原古代住居、広島県北地方各地から移築した古墳時代の石室や、重要文化財旧真野家住宅など、文化財と自然が調和した野外ミュージアムです。

歴史民俗資料館は、「中国山地と江の川」を主な活動テーマとして、考古学・歴史学・民俗学の観点から調査研究や資料の収集保管を進めるとともに、展示や学習支援などの各種事業を展開しています。

この年報は、令和4年度の活動報告です。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大は続いていましたが、臨時休館は一度も行うことなく、夏と秋の特別企画展をはじめ、春の展示会、収蔵資料展、4回の風土記の丘ギャラリーなどの展示会を予定どおり開催することができました。このうち、夏の特別企画展は、横浜ブリキのおもちゃ博物館長である北原照久氏の膨大なコレクションの中から妖怪やホラーに関わるものを展示した「北原コレクションの世界ー妖怪からホラーまでー」、秋の特別企画展は、三次市教育委員会とタイアップして発掘調査出土資料を中心に最新の調査・研究成果を紹介した「国史跡 寺町廃寺跡とその時代ー備北に伝の華ひらくー」です。幅広い県民の興味関心に応える展示と調査研究成果に基づく地域密着の展示をバランスよく行い、分かりやすい内容となるよう努めました。

学習支援活動も一部を除きコロナ前と同様に行うことができ、文化財講座、ふどきの丘体験教室、歴風トークなどを実施し、文化財に対する関心と理解を深めていただきました。また、より満足度の高い新企画ワークショップとして、毎回一組限定の「ゆったり歴史体験」を開始し、利用者の方々から好評を頂いています。学校教育活動での来園・来館時の解説や体験学習指導、また、学校などへ出かけての授業や体験指導を行うアウトリーチ事業なども徐々に増えつつあります。

今後も、生涯学習を担う社会教育・文化施設として、また学校教育活動を支援する施設として、より一層の活動の充実を図り、「文化財に関する県民の知識及び教養の向上に資する」という当館の設置目的はもとより、当県の歴史・文化に親しみ、将来に向けた県民のアイデンティティの醸成に寄与していきたいと考えています。

みよし風土記の丘及び歴史民俗資料館への一層の御理解と御支援を頂ければ幸いです。

令和6年2月

広島県立みよし風土記の丘所長
広島県立歴史民俗資料館長

目 次

御 挨拶

1	沿 革	1
2	施設の概要	3
	(1) 広島県立みよし風土記の丘	3
	(2) みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）	3
3	事業の概要	6
	(1) 展示活動	6
	(2) 学習支援活動	11
	(3) 調査研究活動	18
	(4) 入館者状況	19
	(5) 関係団体	20
4	組織及び運営	22
	(1) 職員	22
	(2) 事業費・運営費	22
5	関係法規	23
	(1) 広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例	23
	(2) 広島県立みよし風土記の丘管理規則	23
	(3) 広島県立歴史民俗資料館設置条例	24
	(4) 広島県立歴史民俗資料館管理運営規則	25
	(5) 広島県教育委員会組織規則（抜粋）	26
	(6) 広島県博物館協議会条例	28

1 沿 革

昭和 32 年 9 月	「浄楽寺古墳群」「七ツ塚古墳群」が広島県史跡に指定
昭和 45 年 9 月	風土記の丘建設に関する請願を県議会において採択
昭和 46 年 8 月	文化庁が「浄楽寺古墳群」「七ツ塚古墳群」を中心とする風土記の丘建設予定地を調査
昭和 47 年 9 月	県知事が、県議会において三次市に風土記の丘を設置するための調査を行うことを表明
10 月	「浄楽寺・七ツ塚古墳群」が史跡に指定
	風土記の丘建設予定地の地形測量委託
昭和 48 年 2 月	県知事が、県議会において三次市に風土記の丘を設置することを表明
10 月	風土記の丘建設予定地の用地買収開始（昭和 49 年 3 月買収完了）
昭和 49 年 12 月	風土記の丘建設工事着工、進入路・管理道・駐車場等設置
昭和 50 年 11 月	建物敷地・疎生林の造成及び修景植栽等工事着工
昭和 51 年 9 月	標識・説明板・案内板・給水施設・焼却炉・便所・道路標識等を設置
	みよし風土記の丘仮オープン
昭和 52 年 10 月	歴史民俗資料館建設工事着工（昭和 53 年 5 月竣工）
11 月	広島県重要文化財「真野家住宅」解体移転工事着工（昭和 52 年 12 月移転完了）
昭和 53 年 4 月	広島県文化財保護審議会に歴史民俗資料館展示計画特別部会を設置
6 月	歴史民俗資料館展示計画推進委員を委嘱
8 月	「真野家住宅」の復元工事着工（昭和 53 年 12 月竣工）
	歴史民俗資料館展示施設工事着工
昭和 53 年 10 月	歴史民俗資料館開設準備室設置
	歴史民俗資料館展示工事着工（昭和 54 年 3 月工事完了）
	風土記の丘修景植栽工事・園銘石設置工事着工（11 月工事完了）
昭和 53 年 11 月	歴史民俗資料館落成式
昭和 54 年 3 月	篠津原第 3 号古墳横穴式石室移築復元
	みよし風土記の丘設置及び管理条例公布
	歴史民俗資料館設置条例公布
4 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館設置
	開園式及び開館式、一般公開開始
	風土記の丘防火用溜池工事着工・完了
6 月	歴史民俗資料館協議会設置
9 月	つどいの家建設工事着工（昭和 55 年 3 月竣工）
12 月	古代住居復元工事着工（昭和 55 年 3 月竣工）
	みよし風土記の丘友の会結成
	「真野家住宅」に避雷針・火災報知機の設置工事着工（昭和 55 年 2 月工事完了）
昭和 55 年 1 月	「旧真野家住宅」が重要文化財に指定
3 月	古墳説明板・屋外消火栓・自動案内放送設備・防犯燈を設置
昭和 56 年 3 月	宗祐池西遺跡箱形石棺移築復元
11 月	「旧真野家住宅」に放水銃設置工事着手（昭和 57 年 3 月工事完了）
昭和 59 年 3 月	酒屋高塚古墳説明板設置
昭和 60 年 11 月	風土記の丘管理道防護柵設置
昭和 61 年 3 月	復原竪穴住居屋根葺替工事完了
11 月	復原高床倉庫・復原平床住居屋根葺替工事完了
昭和 62 年 9 月	古代住居説明板取替工事
平成 元年 2 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館を育てる会結成
5 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館資料館創立 10 周年記念式典・記念行事
	風土記の丘シンボルマーク制定
6 月	歴史民俗資料館増築予定地買収（平成元年 11 月造成工事竣工）
9 月	風土記の丘自然野草園開園
10 月	風土記の丘の地形測量委託
11 月	歴史民俗資料館本館改修工事着工（平成 2 年 4 月竣工）
	歴史民俗資料館新館増築工事着工（平成 3 年 3 月竣工）
平成 2 年 3 月	風土記の丘管理道・遊歩道舗装、修景抜開
	風土記の丘古墳説明板・案内板等改修工事
5 月	歴史民俗資料館本館・民俗資料常設展示館オープン
7 月	野外ふれあいステージ（寄附受納）、帆立貝形古墳日時計設置

平成 3年	1月	屋外便所新築工事
	3月	風土記の丘に屋外時計設置（寄附受納） 歴史民俗資料館新館落成式
	7月	歴史民俗資料館新館オープン記念式典
平成 5年	12月	上水道施設整備竣工
平成 6年	6月	「広島県矢谷古墳出土品」が重要文化財に指定
平成 7年	2月	歴史民俗資料館を博物館登録
	3月	つどいの家トイレ改修工事完了
平成 9年	3月	「広島県矢谷古墳出土品」の特殊器台・特殊壺の解体修理完了
平成 10年	3月	「広島県矢谷古墳出土品」の特殊器台・特殊壺の展示ケースへ免震装置設置
平成 11年	3月	野外ふれあいステージ改修工事完了
	10月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館開設 20 周年記念式典・記念行事
	12月	「江の川流域の漁撈用具」が重要有形民俗文化財に指定 文化庁から接收刀剣類（赤羽刀 28 口）が譲与
平成 12年	2月	「江の川流域の漁撈用具」の指定記念式典
	3月	「旧真野家住宅」・復原竪穴住居・たたら跡屋根葺替え工事完了 復原高床倉庫柱改修工事・大型施設案内板設置（駐車場）・監視カメラモニターシステム等改修工事完了
平成 13年	3月	民俗資料常設展示館・復原高床倉庫屋根葺替え工事、電話装置取替工事完了
平成 14年	3月	復原平床住居修復工事完了
	5月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館のホームページを開設
平成 15年	4月	解説ボランティア活動を開始
平成 16年	3月	歴史民俗資料館が文化庁から重要文化財の公開承認施設に承認
平成 18年	11月	歴史民俗資料館の入館者 100 万人達成
平成 19年	4月	歴史民俗展示室を開設
平成 21年	5月	比治山大学・広島県立歴史博物館との共催講座を開始
平成 22年	3月	復原竪穴住居屋根葺替え工事完了 小学生向けワークブック「みよしふどきの丘まなぶつく 1（常設展示室編）」を刊行
平成 24年	3月	復原平床住居屋根葺替え工事完了 小学生向けワークブック「みよしふどきの丘まなぶつく 2（風土記の丘編）」を刊行
	7月	三次商工会議所、奥田元宋・小由女美術館とのジョイント事業を開始
平成 26年	1月	マスコットキャラクター「ハニワだもん」選定
平成 27年	3月	「旧真野家住宅」消防設備改修（放水銃）
平成 29年	1月	館内消防設備改修（ハロゲン化物消化設備）
平成 31年	1月	企画展示室空調設備改修（同年 3 月完了） 「旧真野家住宅」屋根補修工事着手
	2月	風土記の丘移築石室・石棺案内板付替え工事
令和 元年	8月	「旧真野家住宅」屋根補修工事完了
	9月	監視カメラモニターの改修
令和 2年	3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館 （3月 7 日～5月 11 日まで） 老朽化に伴い展示資料を保全するため、民俗資料常設展示館を閉館 風土記の丘古墳案内板付替え工事（4 枚） 「みよし風土記の丘ミュージアム 常設展示ガイドブック」を刊行
令和 3年	3月	風土記の丘古墳案内板付替え工事（2 枚） 風土記の丘入口懸垂幕取付装置設置
	5月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館 （5月 8 日～6月 20 日、8月 3 日～9月 30 日、1月 14 日～3月 6 日）
令和 4年	1月	中央監視装置更新
	11月	企画展示室空調設備改修完了
	12月	館内無線 LAN 設置工事完了
令和 5年	1月	風土記の丘史跡内法面復旧工事完了
	3月	館内昇降機設備改修工事完了 風土記の丘管理道修繕工事完了 ポケット学芸員導入 Twitter による広報を開始

2 施設の概要

(1) 広島県立みよし風土記の丘

所在地 広島県三次市高杉町・小田幸町

設置目的 浄楽寺・七ツ塚古墳群及び古民家等の文化財を保存し、その活用を図り、もって県民の文化的向上に資する。

施設の概要

総面積 309,450.36 m²

史跡 浄楽寺・七ツ塚古墳群（昭和47年10月12日指定）

面積 258,964 m²

内容

(単位：基)

墳丘形態名	浄楽寺古墳群	七ツ塚古墳群	計
前方後円墳	0	1	1
帆立貝形古墳	1	2	3
円墳	98	55	153
方墳	17	2	19
計	116	60	176

設備の概要

設備名	設置年月	備考
重要文化財 旧真野家住宅 (昭和55年1月26日指定)	昭和53年12月	入母屋造、茅葺、 桁行14.5m、梁間9.0m
移築石室・石棺 篠津原第3号古墳横穴式石室	昭和54年3月	
酒屋高塚古墳縦穴式石室	昭和56年3月	
宗祐池西遺跡箱形石棺	昭和55年3月	
復原古代住居 縦穴住居		
平床住居		
高床倉庫		
民俗資料常設展示館	平成2年5月	令和2年3月閉館
古代たたら跡		
帆立貝形古墳日時計	平成2年7月	
ふれあいステージ	平成2年7月	寄附受納
つどいの家	昭和55年3月	
あずまや		
便所	昭和51年9月 平成3年1月	
駐車場	昭和51年9月	大型バス10台、 乗用車64台
説明・案内板	昭和51年9月	
消火栓・放水銃	昭和55年3月	
ポンプ	昭和55年3月	
自然野草園	平成元年9月	

(2) みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）

所在地 広島県三次市小田幸町122

設置目的 歴史・考古・民俗等の資料の収集・保存、調査・研究、展示・学習支援活動等を行い、本県の文化財に関する県民の理解を深め、教育・学術・文化の発展に寄与する。

施設の概要

	開館時（当初）	現在（新館増設・本館リニューアル後）
構 造	鉄筋1階建、一部地階	地下1階地上1階 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
延床面積	1,186.5 m ²	3,712.40 m ²

開館時の面積内訳

（単位：m²）

部 門	面積	室 名	面積
展示部門 収蔵部門	691.18	収蔵展示室	423.74
		歴史資料特別収蔵室	30.69
		考古資料特別収蔵室	58.39
		民俗資料特別収蔵室	36.44
		仮収蔵室	37.88
		荷捌室兼工作室	91.34
		燻蒸室	12.70
研究部門	58.41	研究室	30.18
		資料室	19.71
		暗室	8.52
管理部門 サービス部門 そ の 他	436.91	管理室（事務室）	39.21
		管理人室	24.90
		機械室	117.19
		ホール	157.45
		その他	98.16
計			1,186.50

現在の面積内訳（新館増設・本館改修後）

（単位：m²）

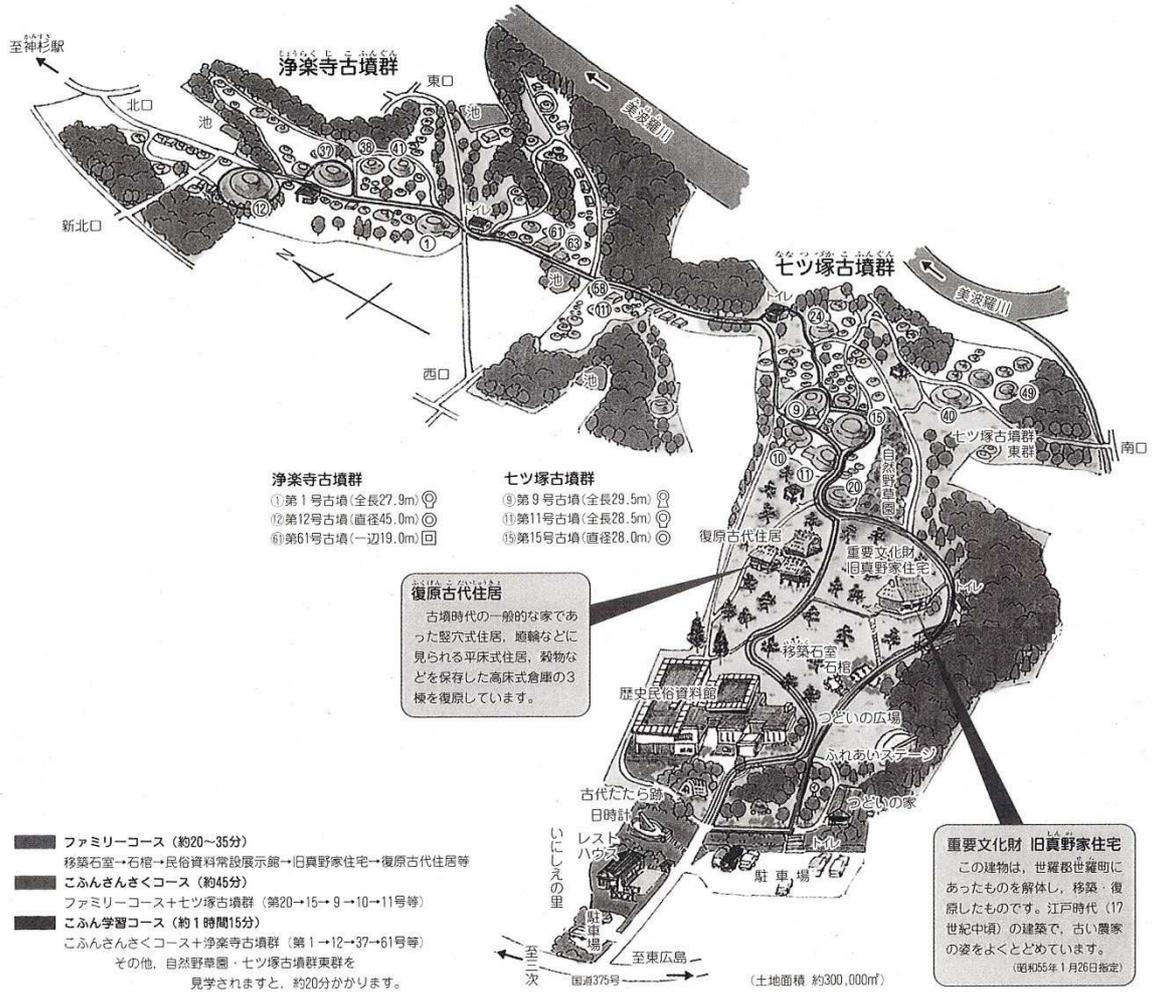
部 門	面積	室 名	面積
展示部門	811.34	常設展示室	512.82
		企画展示室	254.77
		歴史民俗展示室	43.75
教育普及部門	252.13	研修室	184.80
		図書室兼資料室	67.33
収蔵部門	909.51	収蔵庫1	401.29
		収蔵庫2	44.29
		特別収蔵庫	97.01
		展示器具収納室	77.40
		荷受け・仮収蔵庫	228.32
研究部門	135.38	研究室（学芸課）	57.12
		工作室	78.26
管理部門	626.53	館長室	30.51
		事務室（総務課）	39.21
		会議室	19.41
		準備室	33.20
		湯沸かし室・管理人室	36.83
		倉庫	39.78
		機械・電気室	360.19
		その他	67.40
サービス部門 そ の 他	977.51	エントランスホール	162.24
		休憩ホール	220.75
		展望ホール	100.80
		便 所	81.55
		廊 下	252.07
ピロティ			160.10
計			3,712.40

■設備の概要

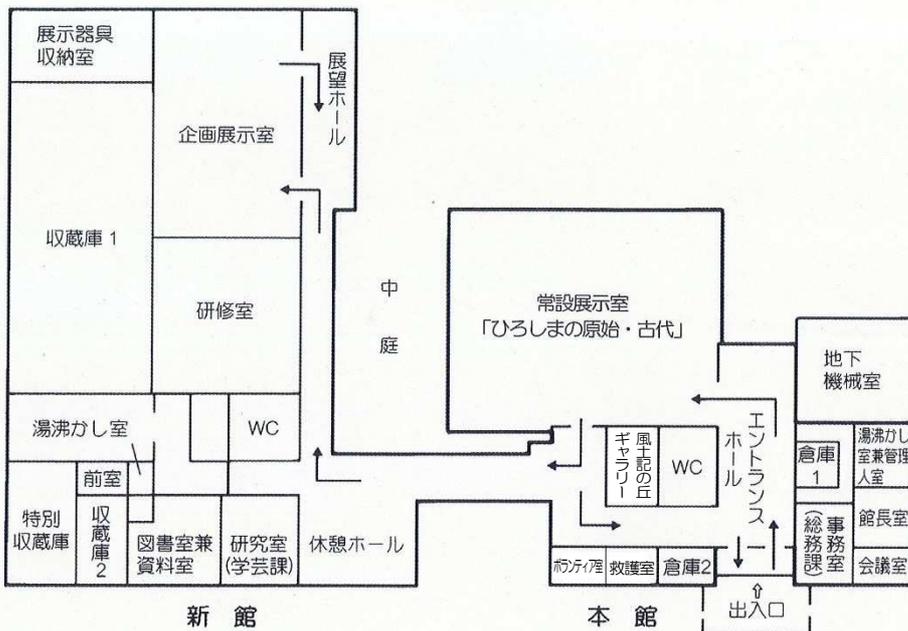
- 電気設備
自家発電機（非常用電源）、電話設備、自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、非常用放送設備、ITV 監視設備、防犯警報設備
- 空調設備
冷温水機（A 重油使用）、ユニット空調機6、全熱交換ユニット1、パッケージ空調機+横型エアフィルター2、ファンコイルユニット20、除湿機2
- 給排水消火設備
水道・受水槽・屋内消火栓設備及びハロン消火施設
- 昇降機設備
油圧式荷物用エレベーター（2t）1基、電動式ホイス1基、電動式リフト1基
- 視聴覚設備
館内ラジオ（日本語・英語）
館内ビデオ4（内、手話付き2）
AVシステム1、スクリーン1
- 駐車場など

●広島県立みよし風土記の丘（平面図）

●風土記の丘見学コース



●広島県立歴史民俗資料館（平面図）



3 事業の概要

(1) 展示活動

ア 常設展示

平成2年度にリニューアルオープンした常設展示「ひろしまの原始・古代」は、四つのコーナーで構成されています。

令和4年度にはスマートフォンやタブレットで展示内容の解説を見ることができるアプリ「ポケット学芸員」を導入しました。

<p>① ガイダンスコーナー —私たちのひろしま—</p> <p>展示の導入部で、広島県の地形や文化財の位置などを地形模型によって把握できます。また、遺跡分布図や年表なども設置しています。</p> <p>○展示構成</p> <p>広島県の地形と主な文化財、広島県の遺跡分布、歴史年表</p>
<p>② 通史コーナー —ひろしまの原始・古代—</p> <p>広島県内で出土した考古資料約900点を始め、各時代の概要を説明した解説パネル、模型などを時代順に展示し、原始・古代の人々の生活の様子や道具の移り変わりなどを展示品によって理解できるようにしています。</p> <p>○展示構成</p> <ul style="list-style-type: none">・地質 みよし風土記の丘周辺の地史・地質資料・旧石器時代 三次盆地の旧石器文化、瀬戸内系文化の拡大・縄文時代 道具の変化、縄文土器と交易・弥生時代 弥生土器と縄文土器、美しき農民の土器、まつりととむらい、三つに分かれた広島県、地域性のある弥生土器、県北部の四隅突出型墳丘墓・古墳時代 古墳と副葬品の変化、古墳の構造と副葬品、前期古墳、中期古墳、後期古墳、霊をはこぶ動物（鳥）、鉄と古墳、くらしと生産、土師器と須恵器・奈良・平安時代 瓦と硯、備後国府跡、下本谷遺跡—推定三次郡衙跡—、広島県の古代寺院、寺町廃寺
<p>③ みよし風土記の丘学習コーナー —たどってみよう浄楽寺・七ツ塚の古墳たち—</p> <p>史跡の浄楽寺・七ツ塚古墳群の全体像を模型やパネルによって分かりやすく展示しています。</p> <p>風土記の丘の1,000分の1の地形模型を中心に、古墳時代の人々の生活を想像復原したジオラマ、浄楽寺・七ツ塚古墳群を構成する円墳・方墳・前方後円墳・帆立貝形古墳の模型、石棺の模型などを展示しています。</p> <p>○展示構成</p> <p>古墳時代の生活、風土記の丘地形模型、風土記の丘の古墳のかたち、古墳の埋葬施設、古墳の出土遺物、三次盆地の主な古墳、発掘調査された古墳</p>
<p>④ 体験コーナー —ふれてみよう原始・古代に—</p> <p>展示資料の中から、各時代の代表的な資料のレプリカ等を、見学者が直接触れることによって、資料に親しんでもらおうとするものです。復原土器や解説ビデオを設置しています。</p> <p>○展示構成</p> <p>展示資料解説ビデオ（手話・文字説明付き）設置</p> <ul style="list-style-type: none">・地質 西酒屋の備北層群大露頭出土のカキ化石・縄文時代 帝釈馬渡岩陰遺跡出土の縄文土器・弥生時代 矢原遺跡・新迫南遺跡出土の鹿の絵画土器・古墳時代 緑岩古墳出土の馬形埴輪・円筒埴輪・奈良・平安時代 横見廃寺跡・寺町廃寺跡・上山手廃寺跡出土の軒丸瓦・その他、体験教室でつくった土器等

イ 特別企画展

(ア) 夏の特別企画展「北原コレクションの世界—妖怪からホラーまで—」

広島県立歴史民俗資料館、奥田元宋・小由女美術館、三次商工会議所ジョイント事業

趣 旨： 三次は日本の妖怪物語の草分けともいえる「稲生物怪録」ゆかりの地であり、各地から多くの人が訪れるなど、人々の妖怪への関心は高まっています。一方、妖怪に関する表現は近代以後大衆化され、現在では、様々な分野にわたる妖怪に関連する膨大な数の作品・資料等が存在しています。

本展は、横浜ブリキのおもちゃ博物館長である北原照久氏の膨大なコレクションの中から、妖怪やホラーに関わるものを一堂に集めて御覧いただくという、北原氏自身にとっても全国初のコレクション展です。「妖怪」という身近でありながら人々の関心の高い題材の展示をとおして、広島県北とも深いつながりのある大衆文化の一端を御覧いただき、老若男女を問わず来館者がそれぞれ興味のある展示品を楽しみながらその魅力について語り合う機会を提供しました。

展示構成： 「こわいもの」と人

妖怪

アーティストの妖怪

北原少年期 妖怪の思い出

モンスター

期 間： 7月7日（木）～8月28日（日）

主 催： 広島県立歴史民俗資料館

後 援： 三次市、三次市教育委員会、一般社団法人広島県観光連盟、
一般社団法人三次観光推進機構、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、三次ケーブルビジョン、広島エフエム放送、エフエムふくやま、
中国新聞社

企画協力： 株式会社トイズプランニング

協 力： NPO 法人三次科学技術教育協会（MISTEE）、一般社団法人ひろしま森のおもちゃ協会

入館者数： 3,273 人

関連行事： 北原照久さんトークショー

期 日： 7月31日（日）

演 題： 「北原コレクションの世界—妖怪からホラーまで—」

講 師： 北原 照久（ブリキのおもちゃ博物館 館長）

展示解説会

期 日： 7月24日（日）、8月14日（日）

解 説： 葉杖 哲也（当館）

科学ワークショップ

協 力： NPO 法人三次科学技術教育協会（MISTEE）

期 日・テーマ：

7月17日（日） 日時計の科学 携帯型の日時計を作ってみよう（Ⅱ）

- 7月24日(日) 電池の科学 こんなものまでも電池になるの？
- 8月6日(日) 音の科学 糸電話・針金電話を作ってみよう
- 8月14日(日) 電気と磁気の科学 最も簡単なモーターを作ってみよう
- 8月21日(日) 重力の科学 カタカタ人形を作ってみよう

TAKE-1 グランプリ

協 力： 一般社団法人ひろしま森のおもちゃ協会
期 日： 8月21日(日)

(イ) 秋の特別企画展「国史跡 寺町廃寺跡とその時代―備北に仏の華ひらく―」

趣 旨： 国史跡 寺町廃寺跡は、飛鳥時代から平安時代にかけて現在の広島県三次市に存在した古代寺院の跡で、三次市教育委員会による昭和から令和にかけて断続的な発掘調査が行われ、大陸や畿内などの先進的な技術を取り込んでいることが明らかになり、大きな注目を集めています。

今回の展示は、三次市教育委員会とタイアップして、発掘調査で出土した資料を中心に、最新の調査・研究成果を紹介し、広島県北部における古代仏教文化の姿に迫りました。

展示構成： 1 寺町廃寺跡建立の背景
2 姿を現した寺町廃寺跡
3 甦る古代寺院と備北の文化

期 間： 10月7日(金)～11月27日(日)

主 催： 広島県立歴史民俗資料館

共 催： 三次市教育委員会

後 援： 三次市、一般社団法人広島県観光連盟、一般社団法人三次観光推進機構、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、三次ケーブルビジョン、広島エフエム放送、エフエムふくやま、中国新聞社

入館者数： 2,010人

関連行事： 記念講演会①

期 日： 10月15日(土)
演 題： 「寺町廃寺と日本霊異記」
講 師： 三舟 隆之(東京医療保健大学 教授)

記念講演会②

期 日： 10月22日(土)
演 題： 「国史跡 寺町廃寺跡報告会」
会 場： 国史跡 寺町廃寺跡現地
講 師： 藤川 翔(三次市教育委員会 主任主事)

『史跡寺町廃寺跡―推定三谷寺跡第1～8次発掘調査総括報告書―』刊行記念シンポジウム

主 催： 三次市教育委員会
協 力： 広島県立歴史民俗資料館、三次地方史研究会
期 日： 11月19日(土)

題名：「史跡 寺町廃寺跡(推定三谷寺)を語る」
会場：みよしまちづくりセンター（ペペらホール）
コーディネーター：松下 正司（比治山大学 名誉教授）
パネリスト：亀田 修一（岡山理科大学 特任教授）
花谷 浩（出雲弥生の森博物館 館長）
加藤 光臣（三次市文化財保護委員長）
西別府 元日（広島大学 名誉教授）
藤田 盟児（奈良女子大学 教授）

展示解説会

期 日：10月23日（日）、11月20日（日）

解 説：島田 朋之（当館）

雅楽演奏会

期 日：11月6日（日）

演 奏：学校法人進徳学園 進徳女子高等学校雅楽部

里山おはなし会「古代三谷寺へタイムスリップ」

期 日：10月9日（日）・16日（日）・23日（日）・30日（日）

会 場：重要文化財旧真野家住宅

読 手：三次おはなしボランティアネットワーク、三次市立図書館

ウ 展示会

(7) 春の展示会「中国道中膝栗毛ー中国自動車道の遺跡めぐりー」

趣 旨：中国自動車道は、大阪府吹田市を起点に中国山地を縦断し、山口県下関市に至る全長540.1kmの高速道路です。広島県内では、庄原市・三次市・安芸高田市・広島市・安芸太田町・廿日市市を繋いでいます。中国山地を貫くように延びる建設地内では、昭和48～55年にかけて47の遺跡が発掘調査され、広島県北部の歴史を物語る数多くの貴重な資料が発見されました。

本展では、中国自動車道建設に伴い発掘調査された遺跡を、路線をたどりながら、地域のまとまりごとに紹介しました。また、近年、中国自動車道沿線で発掘調査された遺跡のうち、注目される遺跡も併せて紹介しました。

展示構成：中国自動車道の遺跡めぐり

コラム「ちょっとひと息」

期 間：4月22日（金）～6月12日（日）

主 催：広島県立歴史民俗資料館

入館者数：2,629人

関連行事：記念講演会

期 日：4月23日（土）

演 題：「四隅突出型墳丘墓の発展と弥生社会」

講 師：野島 永（広島大学大学院 教授）

展示解説会

期 日： 4月24日（日）、5月15日（日）、6月12日（日）

解 説： 平川 孝志（当館）

スペシャルイベント「みんな集まれ！体験イベント」

期 日： 5月15日（日）

内 容： 勾玉づくりなど体験イベントを集合して行いました。

(イ) 新企画「お披露目！収蔵資料展」(前期)

趣 旨： 当館では、昭和54年（1979）の開館以来、広島県北部に関係する国・県指定文化財を含む考古・歴史・民俗資料を数多く収集しています。本展では、これらの資料を、前期・後期に分け、初公開のものを含めてお披露目しました。

前期展では、当館が収蔵する三次人形とひな人形を展示しました。広島県北部では、初節句を迎える子供に三次人形を贈る風習があります。展示では、三次人形の歴史や、人形に込められた願いを紹介しました。また、ひな人形の展示では、ひな祭りの歴史や明治から平成にかけて、時代ごとに変化するひな人形の様子を紹介しました。

展示構成： 第1部 三次人形

第2部 ひな祭りの歴史

期 間： 1月20日（金）～3月26日（日）

主 催： 広島県立歴史民俗資料館

入館者数： 1,679人

関連行事： 記念講演会

期 日： 3月4日（土）

演 題： 「備後地域のひな飾り」

講 師： 大塚 智子（福山市松永はきもの資料館 職員）

展示解説会

期 日： 2月19日（日）、3月5日（日）

講 師： 川上 華恋（当館）

箏演奏会

期 日： 3月5日（日）

演 奏： 小田 貴美子、渡邊 圭子

(ウ) 風土記の丘ギャラリー

名 称	期 間	作家・所蔵者等	種 別
県北のディーゼル機関車	4月29日（金・祝）～7月10日（日）	清原 正明ほか	写真
県北の野鳥展	7月22日（金）～9月25日（日）	菅 昭和ほか	写真
暮らしと道具のうつりかわり	10月14日（金）～1月29日（日）	当館	民俗
「田んぼ」の鳥たち	2月10日（金）～3月26日（日）	衛藤 慎也	写真

(エ) その他の展示

名 称	期 間	作家・所蔵者等	種 別
夏のスペシャル展示「小惑星探査機はやぶさ2が持ち帰ったリュウグウから採取されたサンプル（レプリカ）展示」	6月12日（日）～8月28日（日）	JAXA 宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクト提供	レプリカ パネル
スペシャル展「角矢憲子 絵画展」	7月29日（金）～10月10日（月・祝）	角矢 憲子	絵画
博学連携展示「土器作り体験 作品展」	12月9日（金）～2月26日（日）	三次市立神杉小学校・川西小学校	作品
博学連携展示「土器作り体験 作品展」	2月14日（火）～3月12日（日）	三次市立和田小学校	作品
博学連携事業「日本史読解」歴史新聞展示会	3月14日（火）～3月30日（木）	三次高等学校	ポスター 写真

(2) 学習支援活動

学習支援活動は、文化財講座・歴風トーク・ふどきの丘体験教室・歴風ボランティア研修講座・文化財探訪会・七夕まつり・ふどきの丘まつり等を開催し、県内外の方々の生涯学習を支援するとともに、文化財についての知識や理解を深めていただくために実施しました。

ア 文化財講座

文化財についてより深く理解することを目的に、県内外の研究者を招き、各種のテーマで4回の講座を開催しました。

回数	期 日	演 題	講 師	参加 人数
1	4月23日（土）	四隅突出型墳丘墓の発展と弥生社会	広島大学大学院教授 野島 永	50
2	10月15日（土）	寺町廃寺と日本霊異記	東京医療保健大学教授 三舟 隆之	50
3	10月22日（土）	国史跡 寺町廃寺跡報告会	三次市教育委員会主任主事 藤川 翔	49
4	3月4日（土）	備北地域のひな飾り	福山市松永はきもの資料館 職員 大塚 智子	14
計				163

イ 特別講演会・公演会

回数	期 日	演 題	講 師	参加 人数
1	5月1日（土）	平家琵琶の調べ	平曲弾き語り奏者 荒尾 努	49
計				49

ウ ふどきの丘体験教室

児童・生徒とその保護者及び一般の方に歴史や文化についての興味や関心を高めるとともに、知識や理解を深めるため体験的な内容の教室を実施しました。なお、「椿あぶらをつくろう」は、12月24日（土）が大雪のため令和5年3月25日（土）に変更して開催しました。

回数	期 日	テ ー マ	講 師	会 場	参加 人数
1	5月15日(日)	こふんの森たんけん① 春のネイチャーゲーム	広島さとやまシェアリング ネイチャーの会	風土記の丘	43
2	7月30日(土)	土器・ハニワをつくろう1 (土器作り)	当館職員	つどいの家	57
3	10月23日(日)	こふんの森たんけん② 秋のネイチャーゲーム	広島さとやまシェアリング ネイチャーの会	風土記の丘	5
4	11月12日(土)	土器・ハニワをつくろう2 (土器焼き)	当館職員	つどいの家	36
5	2月18日(土)	こふんの森たんけん③ 野鳥かんさつ	(公財)日本鳥類保護連盟 広島支部三次地方分会会員	風土記の丘	16
6	3月25日(土)	椿あぶらをつくろう	NPO 法人ほしはら山のがっ こう	研修室	19
計					176

エ 歴風トーク

当館の職員や県内で活動する研究者が、最近の考古・歴史・民俗の身近な話題を提供し、参加者との意見交換を通して、歴史や文化について理解を深めてもらうため実施しました。

回数	期 日	テ ー マ	話題提供者等	参加 人数
1	12月11日(日)	寺町廃寺跡余話	当館 西村 直城	12
2	1月15日(日)	吉川元春の活動から見た毛利両川体制	当館 木村 信幸	45
3	2月5日(日)	木屑と大工道具	広島県立歴史博物館学芸員 猪熊 はるの	13
4	3月12日(日)	呉に眠る海軍関連遺構	呉市文化振興課副主任 荒平 悠	12
計				82

オ ゆったり歴史体験

個人や家族を中心とする少人数グループを対象として、資料館・風土記の丘見学と歴史体験ワークショップを組み合わせた事業を実施しました。

回数	期 日	内 容	担 当	会 場	参加 人数
1	7月10日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯	当館 田邊 英男 川上 華恋	つどいの家	6
2	7月24日(日)	羽釜炊飯、玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
3	8月14日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
4	8月28日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
5	10月9日(日)	土鍋炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男	つどいの家	3
6	11月27日(日)	羽釜炊飯、玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	3
7	3月26日(日)	土鍋炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男	つどいの家	2
計					26

カ 展示解説会

特別企画展や展示会の開催に際して、当館の職員等が展示を解説しました。

期 日	内 容	解 説	参加人数
4月24日(日)	春の展示会「中国道中膝栗毛ー中国自動車道の遺跡めぐりー」	当館 平川 孝志	15
5月7日(土)	風土記の丘ギャラリー「県北のディーゼル機関車」	清原 正明	8
5月15日(日)	春の展示会「中国道中膝栗毛ー中国自動車道の遺跡めぐりー」	当館 平川 孝志	12
5月28日(土)	風土記の丘ギャラリー「県北のディーゼル機関車」	清原 正明	13
6月11日(土)	風土記の丘ギャラリー「県北のディーゼル機関車」	清原 正明	10
6月12日(日)	春の展示会「中国道中膝栗毛ー中国自動車道の遺跡めぐりー」	当館 平川 孝志	17
7月24日(日)	夏の特別企画展「北原コレクションの世界ー妖怪からホラーまでー」	当館 葉杖 哲也	3
8月14日(日)	夏の特別企画展「北原コレクションの世界ー妖怪からホラーまでー」	当館 葉杖 哲也	40
10月23日(日)	秋の特別企画展「国史跡寺町廃寺跡とその時代ー備北に仏の華ひらくー」	当館 島田 朋之	18
10月29日(土)	風土記の丘ギャラリー「暮らしと道具のうつりかわり」	当館 平川 孝志	9
11月20日(日)	秋の特別企画展「国史跡寺町廃寺跡とその時代ー備北に仏の華ひらくー」	当館 島田 朋之	30
11月26日(土)	風土記の丘ギャラリー「暮らしと道具のうつりかわり」	当館 平川 孝志	7
12月17日(土)	風土記の丘ギャラリー「暮らしと道具のうつりかわり」	当館 平川 孝志	16
1月14日(土)	風土記の丘ギャラリー「暮らしと道具のうつりかわり」	当館 平川 孝志	5
2月18日(土)	風土記の丘ギャラリー「「田んぼ」の鳥たち」	衛藤 慎也	16
2月19日(日)	新企画「お披露目！収蔵資料展」(前期)	当館 川上 華恋	11
3月5日(日)	新企画「お披露目！収蔵資料展」(前期)	当館 川上 華恋	14
計			244

キ 歴風ボランティア

◆歴風ボランティア研修講座

当館におけるボランティア活動を支援するため、年間8回の研修講座等を開催しました（なお、悪天候のため1回中止）。今年度の新規参加者は1名、修了者は1名でした。

回数	期 日	内 容	担 当	会 場	参加人数
1	5月22日(日)	ガイドンス・館内施設及び展示の解説	当館 葉杖 哲也	研修室・バックヤード	16
2	6月5日(日)	みよし風土記の丘解説	当館 田邊 英男	風土記の丘	1
3	6月19日(日)	常設展示の詳細解説及び実習①(勾玉作り)	当館 葉杖 哲也	常設展示室・ピロティー	1
4	7月3日(日)	実習②(土器作り)	当館 平川 孝志 川上 華恋	ピロティー	1
5	9月4日(日)	ボランティア研究発表	当館 葉杖 哲也	研修室	18
6	10月16日(日)	史跡等現地研修会(広島県北の古代寺院跡)	当館 葉杖 哲也	寺町廃寺跡ほか	1
7	11月6日(日)	実習③(土器焼成・土器炊飯)	当館 葉杖 哲也	つどいの家	1
8	12月4日(日)	風土記の丘の古墳の観察等による調査	当館 葉杖 哲也	風土記の丘	中止
9	3月19日(日)	研修講座修了証交付	当館 葉杖 哲也	研修室	1
計					40

◆解説ボランティア活動

令和4年度は21名が登録し、常設展示の解説、体験活動・イベントのサポートなどを行いました。

ク セタまつり

みよし風土記の丘・歴史民俗資料館を育てる会との共催で実施しました。

期 日	内 容	会 場	参加人数
7月2日(土)	三次青陵高校軽音同好会による演奏、七夕の飾り付け、風船ヨーヨー釣りなど	風土記の丘	160

ケ 各種行事

期 日	名 称	内 容	参加人数
5月15日(日)	スペシャルイベント「みんな集まれ!体験イベント」	勾玉づくりなど体験イベントが集合する	249
7月17日(日)	夏の特別企画展関連行事	日時計の科学 携帯型の日時計を作ってみよう(Ⅱ)(NPO法人三次科学技術教育協会協力)	44
7月24日(日)	夏の特別企画展関連行事	電池の科学 こんなものまでも電池になるの?(NPO法人三次科学技術教育協会協力)	22
7月31日(日)	北原照久さんトークショー	北原コレクションの世界—妖怪からホラーまで—	97
8月2日(火)	スペシャル観察会	夏の星空かんさつ(NPO法人三次科学技術教育協会共催)	77
8月6日(日)	夏の特別企画展関連行事	音の科学 糸電話・針金電話を作ってみよう(NPO法人三次科学技術教育協会協力)	36
8月14日(日)	夏の特別企画展関連行事	電気と磁気の科学 最も簡単なモーターを作ってみよう(NPO法人三次科学技術教育協会協力)	25
8月21日(日)	夏の特別企画展関連行事	重力の科学 カタカタ人形を作ってみよう(NPO法人三次科学技術教育協会協力)	29
8月21日(日)	夏の特別企画展関連行事	TAKE-1グランプリ(一般社団法人ひろしま森のおもちゃ協会協力)	52
9月25日(日)	スペシャル観察・体験会	きのご博士&シェフになろう!	22
10月9日(日)	秋の特別企画展関連行事	古代三谷寺へタイムスリップ(読手:三次おはなしボランティアネットワーク、三次市立図書館)	14
10月16日(日)	秋の特別企画展関連行事	古代三谷寺へタイムスリップ(読手:三次おはなしボランティアネットワーク、三次市立図書館)	27
10月23日(日)	スペシャルイベント「みんな集まれ!秋の体験イベント」	勾玉づくりなど体験イベントが集合する	146
10月23日(日)	秋の特別企画展関連行事	古代三谷寺へタイムスリップ(読手:三次おはなしボランティアネットワーク、三次市立図書館)	46
10月30日(日)	秋の特別企画展関連行事	古代三谷寺へタイムスリップ(読手:三次おはなしボランティアネットワーク、三次市立図書館)	12
11月3日(木・祝)	びほくコードモトフィールド「野遊びフェス2022」	親子で楽しめる自然あそびのイベント(備北観光ネットワーク協議会主催)	100
11月6日(日)	秋の特別企画展関連行事	雅楽演奏会(演奏:進徳女子高等学校雅楽部)	32
11月19日(土)	『史跡寺町廃寺跡—推定三谷寺跡第1~8次発掘調査総括報告書』刊行記念シンポジウム	史跡 寺町廃寺跡(推定三谷寺)を語る(三次市教育委員会主催、三次地方史研究会協力)	200
3月5日(日)	新企画関連行事	箏演奏会(演奏:小田貴美子、渡邊圭子)	53
計			1,283

コ 博物館実習

期 間	受 入 大 学 名	人数
7月26日(火)～7月31日(日)	広島大学、広島女学院大学	5

サ 学校等学習支援活動① (出前授業・アウトリーチ)

期 日	派 遣 先	内 容
4月28日(金)	比治山女子中学校2年生	土器作り
5月11日(火)	広島インターナショナルスクール6年生	学芸員の仕事
5月12日(木)	三次高等学校2年生	広島県・三次の文化
5月26日(木)	三次高等学校2年生	考古学について
6月2日(木)	三次高等学校2年生	民俗学について
6月22日(水)	広島市立可部小学校6年生	土器作り
6月22日(水)	庄原市立板橋小学校6年生	火起こし
6月23日(木)	三次高等学校2年生	歴史学について
6月28日(火)	三次市立川西小学校5・6年生	土器作り
7月8日(金)	三次市立神杉小学校6年生	土器作り
7月13日(水)	庄原市立東城小学校6年生	土器作り
7月15日(金)	三次市立和田小学校6年生	土器・埴輪作り
7月15日(金)	三次市立君田中学校1年生	形象埴輪作り
7月24日(日)	呉市文化振興課	土器作り
8月4日(木)	びあすてっふ黒瀬	火起こし
8月10日(水)	熊野東防災交流センター	勾玉作り
8月28日(日)	呉市文化振興課	土器焼き、勾玉作り
9月1日(木)	三次高等学校2年生	分野別研究指導
9月10日(土)	熊野町町民会館	火起こし、土器炊飯
9月13日(火)	三次市障害者支援センター	勾玉作り
9月15日(木)	福山誠之館高等学校定時制全学年	土器・埴輪作り
9月16日(金)	東広島市立木谷小学校5年生	勾玉作り
10月20日(木)	比治山女子中学校2年生	土器焼き
10月21日(金)	比治山女子中学校1年生	土器作り
11月8日(火)	三次市立川西小学校5・6年生	土器焼き
11月9日(水)	庄原市立東城小学校6年生	土器焼き
11月18日(金)	三次市立八次小学校6年生	近世の三次
12月2日(金)	三次市立三次小学校3年生	昔の道具、火起こし、土器炊飯
12月7日(水)	三次市立神杉小学校6年生	土器焼き
12月15日(火)	三次市立川西小学校5・6年生	三次での伊能忠敬の足跡
1月12日(木)	三次高等学校2年生	分野別研究指導
1月26日(木)	三次高等学校2年生	分野別研究指導
2月9日(木)	三次市立和田小学校6年生	土器焼き
2月15日(金)	福山市立常石ともに学園1～3年生	昔の道具、火起こし、土器炊飯
2月17日(水)	三次市立十日市小学校3年生	昔の道具
2月22日(水)	三次市立三次小学校3年生	体験のまとめ
3月2日(木)	三次高等学校2年生	分野別研究指導
3月9日(木)	三次高等学校2年生	ポスターセッション
3月15日(水)	三次市立神杉小学校3年生	町の移り変わり道具、土器炊飯
3月17日(金)	三次市立布野中学校1年生	火起こし、土器炊飯

シ 学校等学習支援活動② (来館対応)

期 日	来 館 者	内 容
4月14日(木)	広島インターナショナルスクール6年生	常設・園内見学、勾玉作り
4月15日(金)	広島なぎさ中学校2年生	常設・園内見学
4月15日(金)	三次青陵高等学校3年生	園内見学

4月17日(日)	沖田学習セミナー	常設・園内見学、火起こし、土器炊飯
4月20日(水)	三次市立八次小学校6年生	常設・園内見学
4月21日(木)	広島女学院中学校3年生	常設・園内見学
4月27日(水)	三次青陵高等学校1年生	常設・園内見学、勾玉作り
5月8日(日)	河浜塾	常設・園内見学、勾玉作り
5月10日(火)	三次市立神杉小学校6年生	常設・企画・園内見学
5月21日(土)	福山市立大学	常設・園内見学
5月22日(日)	北九州市いのちのたび博物館友の会	常設・企画見学
5月28日(土)	県立三次中学校・高等学校(中学3年生、 高校2・3年生)	常設・企画・園内見学、測量実習①
6月14日(火)	三次市立川西小学校6年生	常設・園内見学、火起こし
6月23日(木)	三次市立酒河小学校6年生	常設・園内見学
7月1日(金)	三次市立田幸小学校6年生	常設・園内見学
7月5日(火)	三次市立甲奴小学校6年生	常設・園内見学
7月16日(土)	県立三次中学校・高等学校(中学3年生、 高校2・3年生)	勾玉作り、土器炊飯
7月22日(金)	大竹市歴史研究会	常設・園内見学
8月9日(火)	県立広島大学	企画展見学
8月25日(木)	庄原市立庄原小学校5年生	勾玉作り
8月26日(金)	庄原市立庄原小学校5年生	勾玉作り
8月27日(土)	県立三次中学校・高等学校(中学3年生、 高校2・3年生)	土器作り、土器洗浄
9月9日(金)	東広島市立西条小学校3年生	昔の暮らし
9月14日(水)	三次市立みらさか小学校5年生	勾玉作り
9月15日(木)	三次市立十日市小学校4年生	常設見学、川の学習、勾玉作り
9月21日(水)	福山北特別支援学校高等部1年生	常設見学、勾玉作り
9月23日(金)	県立広島大学(博物館実習)	概要説明、バックヤード見学
10月1日(金)	庄原市立東城中学校(特別支援学級)	園内見学、勾玉作り
10月7日(金)	庄原市立高小学校1～4年生	常設・園内見学、勾玉作り
10月20日(木)	比治山女子中学校2年生	常設・園内見学
10月23日(日)	在日本大韓国民団広島県本部	常設・園内見学
10月29日(土)	身障ひまわり会	館内・園内見学
11月11日(金)	西条中央支部福祉部「おでかけサロン」	常設・園内見学
11月12日(土)	比治山大学	常設・企画・園内見学
11月12日(土)	広島県退職公務員連盟福山市支部	常設・園内見学
11月13日(日)	東広島市三ツ城自治会	常設・園内見学
11月25日(金)	北広島町立壬生小学校6年生	常設・企画見学、火起こし、土器炊飯
11月27日(日)	放課後等ディサービス マナカ	勾玉作り
12月17日(土)	県立三次中学校・高等学校(中学3年生、 高校2・3年生)	拓本
1月25日(水)	三次市立三次中学校3年生	常設・園内見学、インタビュー
2月4日(土)	カッパ隊	ウォークラリー、自由な形の玉作り
2月25日(土)	県立三次中学校・高等学校(中学3年生、 高校2・3年生)	企画見学、拓本
3月3日(金)	サンコウツアー 植物観察	企画見学
3月3日(金)	西条特別支援学校6年生	土器をさわる体験、勾玉作り
3月11日(土)	県立三次中学校・高等学校(中学3年生、 高校2・3年生)	平板測量
3月11日(土)	大田市山村留学センター	館内見学、火起こし、土器炊飯
3月12日(日)	安郷土史懇話会	館内・園内見学
3月18日(土)	県立三次中学校・高等学校(中学3年生、 高校2・3年生)	火起こし、土器焼き、土器炊飯
3月18日(土)	三次高等学校2年生	ポスターセッション
3月18日(土)	放課後ディサービス ミリミリ	勾玉作り
3月18日(土)	ふるさと遺跡巡り	館内・園内見学

ス 館外講演・研究発表

期 日	演 題 等	依 頼 先 等	担 当	参加人数
5月22日(日)	与谷城跡を歩く	北広島町教育委員会	木村 信幸	35
8月8日(月)	博物館と社会教育	広島大学	木村 信幸	52
8月28日(日)	戦国後期の古川領	大朝地域協議会	木村 信幸	60
2月19日(日)	安芸地域の縄文・弥生・古墳時代の土器の特色と変遷について	熊野町郷土史研究会	島田 朋之	7

セ 資料の活用

◆資料の出版・ホームページ掲載・撮影・熟覧

番号	利用 者	利用 目的	利用 資料 名	許 可 日
1	出雲弥生の森博物館	夏季企画展の事前調査、展示解説パンフレット及び展示用パネルへの掲載	緑岩古墳出土土器・カワニナカイ	4月12日
2	広島市文化振興課	阿刀神楽調査報告の作成	三村泰臣氏神楽関係調査記録一式	5月24日
3	村田 晋	浄楽寺第12号古墳の築造時期検討のため	浄楽寺第12号古墳出土鉄製品・玉類	6月2日
4	三原市教育委員会	「みはらの遺跡展」に係る資料調査	横見廃寺跡出土瓦・金銅製飾金具	6月9日
5	小原 清	阿刀神楽調査検討会議の発表資料への掲載	三村泰臣氏神楽関係調査記録一式	6月15日
6	比婆荒神神楽保存会	広島銀行庄原支店でのパネル展示	比婆荒神神楽大神楽紹介パネル	6月30日
7	村田 晋	記録の作成のため	白山第1号古墳出土鉄製品(可部高校資料)	7月9日
8	小原 清	阿刀神楽調査検討会議の発表資料への掲載	三村泰臣氏収集資料「大正拾四年神楽歌集」(広島県佐伯郡栗谷村大字大栗谷)	7月13日
	和田 麻衣子	研究利用のため	上四拾貫古墳群出土土器、緑岩古墳出土土器	7月15日
9	福山城博物館友の会	『福山城資料集』(福山城博物館友の会発行)への掲載	福山城の古写真	7月26日
10	株式会社KG情報	ホームページ(ママ賃貸コラムのおでかけ記事)への掲載	園内写真(竪穴式住居・平床式住居・高床式倉庫・酒屋高塚古墳移築石室・浄楽寺第12号古墳・帆立貝形古墳日時計)、常設展示室写真、ふどきの丘体験教室風景写真	8月6日
11	厚 香苗	研究利用のため	江の川流域の漁撈用具一式	8月6日
12	山田 繁樹	報告書作成	中大平古墳出土耳環・玉類	9月1日
13	熊澤 謙一	NHK番組「ニッポン今つないでみたら」での放映	大正時代末～昭和時代初期の三次鶴飼を題材とした絵葉書の写真	9月6日
14	古代歴史文化協議会	『刀剣―武器から読み解く古代社会―』への転載	夫婦岩遺跡出土平形銅剣の写真	9月8日
15	株式会社三次ケーブルビジョン	番組「あっちこっちみよし敬老の日特集」での放映	タタキ漁一網上げ写真、タタキ漁写真	9月16日
16	庄原市教育委員会	佐田谷・佐田峠墳墓群パンフレット・案内板への掲載	佐田谷1号墓出土注口付脚台付鉢形土器・高杯の写真	12月25日
17	川本 理央	卒業論文作成のため	江の川流域の漁撈用具(セリアミ・オオヒキアミ)	1月14日
18	加藤 夕輔	卒業論文作成のため	緑岩古墳出土円筒埴輪、酒屋高塚古墳出土円筒埴輪、手坊谷第2号古墳出土円筒埴輪、四拾貫小原第17号古墳出土円筒埴輪	3月2日

19	広島県立歴史博物館	広島県立歴史博物館ニュース第133号及びホームページへの掲載	亀山第1号古墳出土筒形銅器・刀子の画像	3月5日
20	大竹市教育委員会	大竹の神楽に関する調書作成のため	神楽歌集写し(文久二年)(三村泰臣氏寄贈・大竹市大栗林神楽資料の裏表紙)	3月15日

◆資料の貸出

番号	貸出先	使用目的	貸出資料名	貸出期間
1	庄原市帝釈峡博物館展示施設時悠館	常設展示での展示	戸宇大仙山第3号古墳出土耳環・勾玉、牛川遺跡出土土器	4月1日 ～3月31日
2	三次市作木支所	作木郷土資料館常設展示での展示	江の川の漁具	4月1日 ～3月31日
3	可部高等学校	学校教育活動において活用	給人原古墳群出土土器・金属製品	4月1日 ～3月31日
4	島根県立古代出雲歴史博物館	特別展「ハニワの世界へようこそ」での展示	緑岩古墳出土馬形埴輪	6月16日 ～9月30日
5	島根県立古代出雲歴史博物館	秋季企画展「出雲と吉備」での展示	宗祐池西遺跡出土 壺・脚付鉢	9月5日 ～12月28日
6	出雲弥生の森博物館	夏季企画展「祈りが込められた副葬品」での展示	緑岩古墳出土土器・カワニナカイ(現生)	7月21日 ～10月31日
7	古代歴史文化協議会	展覧会「刀剣ー古代の武といのりー」(大阪歴史博物館)での展示	地藏堂山第1号古墳出土 素環頭大刀および復元品	9月20日 ～12月28日
8	広島県立歴史博物館	ミニ展示「神辺の首長墓ー亀山第1号古墳ー」での展示	亀山第1号古墳出土筒形銅器・鉄製品・玉類	11月下旬 ～2月上旬
9	三原市教育委員会	「みはらの遺跡展パート2」での展示	横見廃寺跡出土瓦・金銅製飾金具	2月1日 ～2月27日
10	東広島市教育委員会	企画展「東広島の黎明展」での展示	浄福寺2号遺跡出土有鉤銅釧	3月20日 ～7月5日

(3) 調査研究活動

ア 総合研究

当館が、中国山地と江の川水系の中心に位置する三次市に所在することから、開館以来、「中国山地と江の川をめぐる歴史・文化」を活動のテーマとし、考古部門では「広島県及び中国山地の文化」、民俗部門では「江の川水系の漁撈民俗」、歴史部門では「中国山地のたたら製鉄」を中心に調査研究を進めています。

これらの調査研究の成果は、展示会・講演会・刊行物等で広く公開し、県民が歴史や民俗・文化に対する理解を深められるよう努めるものです。

イ テーマ研究

研究分野や地域を絞って調査研究を進めるもので、その成果は次年度以降の展示会等で公開します。

令和4年度は、①「フィギュアの歴史」と②「三次鶺鴒と日本の鶺鴒」に取り組みました。①は、フィギュアの歴史について株式会社海洋堂の作品の調査を行いました。②は、人と鳥が協働して行う世界的にも特有の漁業である三次鶺鴒をはじめとする日本の鶺鴒の世界を展示するために、必要な資料の有無などを調査しました。

(4) 入館者状況

ア 常設展

月別	開館日数	有料入館者数					免除入館者数				入館者総計	1日平均
		個人		団体		合計	一般大学	高校生以下		合計		
		一般	大学	一般	大学			学校行事	個人			
4	26	195	3	4	0	202	496	718	94	1,308	1,510	58.1
5	27	416	18	19	56	509	824	156	345	1,325	1,834	67.9
6	26	179	2	12	0	193	452	39	52	543	736	28.3
7	27	108	1	1	0	110	1,509	22	341	1,872	1,982	73.4
8	27	156	8	3	0	167	1,966	67	490	2,523	2,690	99.6
9	25	181	6	2	21	210	392	315	70	777	987	39.5
10	26	87	0	1	0	88	1,213	0	372	1,585	1,673	64.3
11	26	53	4	9	0	66	1,107	0	140	1,247	1,313	50.5
12	23	40	4	2	0	46	196	11	13	220	266	11.6
1	21	47	1	0	0	48	217	0	11	228	276	13.1
2	24	126	3	22	0	151	494	9	66	569	720	30.0
3	27	150	3	3	0	156	674	36	113	823	979	36.3
計	305	1,738	53	78	77	1,946	9,540	1,373	2,107	13,020	14,966	49.1

イ 特別企画展

月別	開館日数	有料入館者数						免除入館者数			入館者総計	1日平均	
		個人			団体			合計	一般	高校生以下			合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中						
7	22	538	14	111	13	0	0	676	536	47	583	1,259	57.2
8	25	810	36	238	32	1	2	1,119	833	62	895	2,014	80.6
10	21	254	6	24	16	0	0	300	451	350	801	1,101	52.4
11	24	205	20	10	13	1	0	249	606	54	660	909	37.9
計	92	1,807	76	383	74	2	2	2,344	2,426	513	2,939	5,283	57.4

ウ 入館者の推移

年度	開館日数	常設展	企画展	有料入館者数	免除入館者数	入館者総数	1日平均	累計
昭和 54	283	47,513	—	47,513	—	47,513	168	47,513
55	305	47,943	—	47,943	—	47,943	157	95,456
56	302	44,917	—	44,917	—	44,917	149	140,373
57	306	46,338	—	46,338	—	46,338	151	186,711
58	307	43,633	—	43,633	—	43,633	142	230,344
59	306	45,265	—	45,265	—	45,265	148	275,609
60	306	43,876	—	43,876	—	43,876	143	319,485
61	306	43,311	—	43,311	—	43,311	142	362,796
62	308	42,060	—	42,060	—	42,060	137	404,856
63	309	38,376	—	38,376	—	38,376	124	443,232
平成 元	184	24,830	—	24,095	735	24,830	135	468,062
2	284	40,643	—	27,096	13,547	40,643	143	508,705
3	313	30,185	27,425	38,760	18,850	57,610	184	566,315
4	309	30,062	18,656	34,427	14,291	48,718	157	615,033
5	309	25,158	18,790	28,437	15,511	43,948	142	658,981

6	308	27,377	17,015	33,508	10,884	44,392	144	703,373
7	309	23,210	15,846	29,571	9,485	39,056	126	742,429
8	312	21,368	13,332	24,849	9,851	34,700	111	777,129
9	311	14,925	9,051	17,607	6,369	23,976	77	801,105
10	305	21,674	3,661	15,550	9,785	25,335	83	826,440
11	311	17,254	3,594	12,386	8,462	20,848	67	847,288
12	310	18,573	4,134	13,199	9,508	22,707	73	869,995
13	312	17,435	3,440	11,654	9,221	20,875	66	890,870
14	313	20,979	3,823	10,122	14,680	24,802	79	915,672
15	314	20,877	3,297	9,623	14,551	24,174	76	939,846
16	312	19,989	5,727	10,855	14,861	25,716	82	965,562
17	310	14,494	2,073	6,173	10,394	16,567	53	982,129
18	311	20,210	3,529	9,357	14,382	23,739	76	1,005,868
19	314	24,160	9,776	13,003	20,933	33,936	108	1,039,804
20	313	21,069	7,523	10,101	18,491	28,592	91	1,068,396
21	314	19,522	6,579	9,602	16,499	26,101	83	1,094,497
22	312	16,547	3,862	6,074	14,335	20,409	65	1,114,906
23	312	18,911	5,000	7,570	16,341	23,911	76	1,138,817
24	313	18,948	5,005	6,053	17,918	23,953	76	1,162,770
25	316	25,517	9,018	10,055	24,480	34,535	109	1,197,305
26	313	21,222	6,625	5,535	22,312	27,847	88	1,225,152
27	316	31,418	17,662	15,133	33,947	49,080	155	1,274,232
28	313	22,923	9,133	7,328	24,728	32,056	102	1,306,288
29	311	23,811	10,089	7,862	25,995	33,900	109	1,340,188
30	308	20,055	6,823	5,211	21,376	26,878	87	1,367,066
令和 元	287	21,154	8,869	7,216	22,807	30,023	104	1,397,089
2	273	11,598	3,602	3,351	11,849	15,200	55	1,412,289
3	172	11,315	2,451	2,673	11,093	13,766	80	1,426,055
4	305	14,966	5,283	4,290	15,959	20,249	66	1,446,304
計	13,267	1,175,611	270,693	921,558	524,430	1,446,304		

(5) 関係団体

ア みよし風土記の丘友の会の活動状況

◆会員数 126名（令和5年3月末現在）

◆役員 会長 吉川 昌彦

副会長 鷺尾 実 原田 隆雄

常務理事 木村 信幸

理事 上重 武和 四車 ユキコ 中村 芳昭

会計監事 木村 志郎 大岡 廉

◆実施事業

文化財講座	4回
ふどきの丘体験教室	6回
歴風トーク	4回
文化財探訪会	1回
会報の発行	1回
スペシャルイベント	2回

イ 広島県歴史民俗資料館等連絡協議会の活動状況

- ◆「広島県歴史民俗資料館等職員及び県内文化財担当者一覧」（令和4年度）の作成

会報「れきみんきょう」No.53 の作成

- ◆総会 10月書面会議

議題 令和3年度年度事業報告及び決算報告について

令和4年度事業計画案及び予算案について

- ◆第79回研究会 11月17日（木）

会場 広島県立歴史民俗資料館 研修室

内容 「新たなミュージアムを目指して－新規オープン館とリニューアル館－」

報告「三次から妖怪を世界へ！湯本豪一記念日本妖怪博物館」

湯本豪一記念日本妖怪博物館学芸員 伏見 由希

報告「世羅町大田庄歴史館のリニューアル事業について」

世羅町教育委員会社会教育課主査（兼）学芸員 林 光輝

報告「府中町歴史民俗資料館のリニューアルについて」

府中町教育委員会社会教育課課長補佐 竹林 邦彦

報告「福山城博物館のリニューアルについて」

福山城博物館学芸員 皿海 弘樹

4 組織及び運営

(1) 職員

歴史民俗資料館

館長 木村 信幸
 総務課 課長 森信 真樹
 主事 森光 啓介
 ワークサポート職員 林 奈千代
 学芸課 課長 西村 直城
 主任学芸員 葉杖 哲也
 主任学芸員 島田 朋之
 主任学芸員 平川 孝志
 学芸員 川上 華恋
 学芸員 (エルダー) 田邊 英男
 (兼) 主任学芸員 大上 裕士
 (兼) 主任学芸員 尾崎 光伸
 (兼) 主任学芸員 花本 哲志
 (兼) 主任学芸員 岡野 将士
 (兼) 主任学芸員 久下 実
 (兼) 主任学芸員 渡部 史之
 (兼) 学芸員 猪熊 はるの
 (兼) 学芸員 川邊 あさひ
 (兼) 学芸員 山川 聡大
 文化施設事務従事員 稲村 由香

みよし風土記の丘

(兼) 所長 木村 信幸
 (兼) 主査 森信 真樹
 (兼) 主任学芸員 西村 直城
 (兼) 主任学芸員 葉杖 哲也
 (兼) 主任学芸員 島田 朋之
 (兼) 主任学芸員 平川 孝志
 (兼) 学芸員 川上 華恋
 (兼) 学芸員 (エルダー) 田邊 英男
 (兼) 主事 森光 啓介

(2) 事業費・運営費

区分	内訳	金額 (単位: 千円)
歴史民俗資料館 管理運営費 (経常)	資料館運営費	35,591
	風土記の丘管理費	7,375
	資料館ゴミ処理対策費	85
	広報出版活動費	397
	小計	43,448
歴史民俗資料館 管理運営費 (政策)	資料収集整理保存活動費	15
	調査研究活動費	383
	展示活動費	9,721
	生涯学習推進費	409
	小計	10,528
歴史民俗資料館設備修繕	エレベーター更新・管理道修繕等	35,239
合 計		89,215

5 関係法規

(1) 広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例

昭和 54 年 3 月 13 日

広島県条例第 3 号

(設置)

第 1 条 浄楽寺・セツ塚古墳群及び古民家等の文化財（以下「古墳群等」という。）を保存し、その活用を図り、もって県民の文化的向上に資するため、広島県立みよし風土記の丘（以下「風土記の丘」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 風土記の丘の位置は、三次市高杉町及び小田幸町とし、その区域は、知事が告示する。

(職員)

第 3 条 風土記の丘に、所長その他必要な職員を置く。

2 所長は、風土記の丘の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(遵守事項)

第 4 条 風土記の丘の区域内においては、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 土砂を採取し、土地の形状を変更する等古墳群等を損なう行為をしないこと。
- (2) 施設及び設備をき損し、又は汚損しないこと。
- (3) その他知事が定める事項

(行為の許可)

第 5 条 風土記の丘の区域内において、行商、募金、宣伝、興行その他これらに類する行為をしようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

(委任規定)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、風土記の丘の内部組織その他管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

(2) 広島県立みよし風土記の丘管理規則

昭和 54 年 3 月 20 日

広島県教育委員会規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この教育委員会規則は、広島県立みよし風土記の丘（以下「風土記の丘」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(施設及び設備の管理)

第 2 条 所長は、風土記の丘の設置目的を達成するため、浄楽寺、セツ塚古墳群及び古民家等の文化財（以下「古墳群等」という。）並びに施設及び設備の保全管理に関し周到な計画のもとに適切な措置を講じなければならない。

2 所長は、古墳群等並びに施設及び設備がき損し、又は滅失したときは、速やかに教育長に報告しなければならない。

(遵守事項)

第 3 条 風土記の丘の区域内においては、広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例（昭和 54 年広島県条例第 3 号。以下「条例」という。）第 4 条第 1 号及び第 2 号に掲げる事項のほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 動植物を採捕し、又は傷つけないこと。
- (2) 駐車場以外の場所に車を乗り入れ、又は駐車しないこと。
- (3) 指定の場所以外の場所にごみその他の汚物又は廃物を捨て、又は放置しないこと。
- (4) 他人に対し著しく粗野な行為その他の行為をして迷惑をかけること。

(5) 公共の保安、衛生、風紀上障害となる行為をしないこと。

(6) その他係員の指示に従うこと。

(退去命令)

第4条 教育長は、条例若しくはこの教育委員会規則に定める事項に違反した者に対し、風土記の丘の区域から退去を命ずることができる。

(駐車の拒否)

第5条 教育長は、自動車が決の各号のいづれかに該当するときは、当該自動車の運転者又は管理について責任のある者に対し、駐車場における駐車を拒否することができる。

(1) 発火、引火又は爆発のおそれのある物品を積載しているとき。

(2) 他の自動車の駐車に支障となる荷物を積載しているとき。

(損害の責任)

第6条 古墳群等、その他の施設及び設備をき損し、又は滅失した者は、それによつて生じた損害を賠償しなければならない。

第7条 この教育委員会規則に定めるもののほか、風土記の丘の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この教育委員会規則は、昭和54年4月1日から施行する。

(3) 広島県立歴史民俗資料館設置条例

昭和54年3月13日

広島県条例第4号

(設置)

第1条 文化財に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、広島県立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 資料館の位置は、三次市小田幸町とする。

(業務)

第3条 資料館は、次の業務を行う。

(1) 歴史、考古、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 歴史、考古、民俗等の資料の調査研究に関すること。

(3) その他県民の文化財に関する知識及び教養に資するために必要な業務を行うこと。

(職員)

第4条 資料館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、資料館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(入館料の納付)

第5条 資料館の展示する資料を観覧する者は、入館料を納付しなければならない。

2 入館料の額は、別表のとおりとする。

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減免することができる。

4 既納の入館料は、返還しない。

(遵守事項)

第6条 資料館においては、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 展示資料、展示設備等に触れないこと。

(2) 許可を受けないで、展示資料の模写又は撮影をしないこと。

(3) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑をかけること。

(4) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をしないこと。

(5) その他教育委員会が定める事項

附 則

この条例は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月8日条例第5号抄）

1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ該当各号に定める日から施行する。

(1)～(3) 略

(4) 前三号に掲げる規定以外の規定 平成 31 年 10 月 1 日

別表（第 5 条関係）

(1) 通常の展示の場合

利用者の区分	個人	団体（20 人以上の場合とする。）
大学生及びこれに準ずる者	一人 1 回 150 円	一人 1 回 120 円
その他満 15 歳以上の者 （中学校又は高等学校の生徒及び これに準ずる者を除く。）	一人 1 回 200 円	一人 1 回 160 円

(2) 特別の展示の場合

一人 1 回 1,040 円以内で知事が定める額

(4) 広島県立歴史民俗資料館管理運営規則

昭和 54 年 3 月 20 日

広島県教育委員会規則第 6 号

（趣旨）

第 1 条 この教育委員会規則は、広島県立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第 2 条 資料館の開館時間は、9 時から 17 時までとする。

2 教育長は、必要と認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

（休館日等）

第 3 条 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号。以下「法律」という。）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日曜日、土曜日又は休日以外の日）

(2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日まで

2 教育長は、必要と認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は、同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 教育長は、前項の規定により、臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめ、公告するものとする。

（入館券の購入等）

第 4 条 資料館の展示する資料を観覧しようとする者は、入館前に、入館券を購入しなければならない。

2 前項の規定により入館券を購入した者は、資料館に入館する際には、入館券を係員に提示しなければならない。

3 入館券は、これを返還して現金の還付を受け、又は紛失その他の理由によつても再交付を受けることができない。著しく汚染し、又は損傷した入館券は、無効とする。

（入館料の免除）

第 5 条 次の各号に掲げる者については、それぞれ該当各号に定める展示に係る入館料を免除する。

(1) 身体障害者手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(3) 療育手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(5) 満 65 歳以上の者 通常の展示

(6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生 通常の展示

(7) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校、高等学校若しくはこれらに準ずる学校の校長（幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長）が学校教育活動であることを証明した場合の当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校若しくは当該高等学校の

生徒若しくはこれらに準ずる者（以下「幼児等」という。） 特別の展示

(8) 幼児等の引率者 通常の展示又は特別の展示

(9) 特別の展示と併せて通常の展示を観覧する者 通常の展示

2 次の各号のいずれかに該当する者については、広島県教育委員会が行う展示に係る入館料を免除する。

(1) 法律第2条に規定するこどもの日における小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者

(2) 法律第2条に規定する文化の日における入館者

(3) ひろしま教育の日を定める条例（平成13年広島県条例第40号）第3条に規定するひろしま教育ウィークにおける小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者

3 前2項のほか、教育長が特別の理由があると認めるときは、入館料を減免することができる。

4 第1項第1号から第8号までのいずれかに該当し、入館料の免除を受けようとする者は、該当することを証する書類を提示しなければならない。

（遵守事項）

第6条 資料館においては、広島県立歴史民俗資料館設置条例（昭和54年広島県条例第4号）第6条第1号から第4号までに掲げる事項のほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示資料、展示設備等をき損し、又は汚損しないこと。

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物を携行しないこと。

(3) その他係員の指示に従うこと。

（禁止行為）

第7条 資料館においては、次の各号に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育長の許可を受けた場合は、この限りでない。

(1) 行商その他これに類する商行為

(2) 寄附の募集

(3) 宣伝その他これに類する行為

(4) 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

（入館の制限等）

第8条 教育長は、前2条の規定に違反するおそれのある者に対しては資料館への入館を拒否し、これらの規定に違反した者に対しては資料館からの退去を命ずることができる。

（損害の責任）

第9条 資料館の展示資料又は施設若しくは設備をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

（補則）

第10条 この教育委員会規則に定めるもののほか、資料館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この教育委員会規則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月22日教育委員会規則第3号）

この教育委員会規則は、平成30年4月1日から施行する。

(5) 広島県教育委員会組織規則（抜粋）

平成9年4月1日

広島県教育委員会規則第4号

第2章 事務局

第2節 地方機関

第4款 みよし風土記の丘

（名称及び位置）

第20条 広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例（昭和54年広島県条例第3号）第1条の規定により設置された広島県立みよし風土記の丘の名称及び位置は次のとおりである。

名 称	位 置
広島県立みよし風土記の丘	三次市高杉町及び小田幸町

(分掌事務)

第 21 条 広島県立みよし風土記の丘は、次に掲げる事務を分掌する。

- (1) 古墳群の保存管理及び公開に関すること。
- (2) 古墳群の調査研究に関すること。
- (3) 施設を一般の利用に供すること。

第 4 章 学校以外の教育機関

第 7 節 歴史民俗資料館

(名称及び位置)

第 43 条 広島県立歴史民俗資料館設置条例（昭和 54 年広島県条例第 4 号）第 1 条の規定により設置された広島県立歴史民俗資料館（以下「歴史民俗資料館」という。）の名称及び位置は次のとおりである。

名 称	位 置
広島県立歴史民俗資料館	三次市小田幸町

(業務)

第 44 条 歴史民俗資料館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 歴史、考古、民俗等の資料の調査研究に関すること。
- (3) その他県民の文化財に関する知識及び教養に資するために必要な業務に関すること。

(内部組織)

第 45 条 歴史民俗資料館に次の課を置く。

総務課

学芸課

(各課の分掌事務)

第 46 条 歴史民俗資料館の各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 公印の管理に関すること。
- (2) 文書及び物件の収受、発送及び整理保存に関すること。
- (3) 館員の人事、給与、服務及び福祉厚生に関すること。
- (4) 令達予算の執行に関すること。
- (5) 施設及び設備の管理保全に関すること。
- (6) 前各号のほか、館内の連絡調整及び学芸課の所掌に属しない館務に関すること。

学芸課

- (1) 歴史、考古、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 歴史、考古、民俗等の資料の調査研究に関すること。
- (3) その他県民の文化財に関する知識及び教養に資するために必要な業務に関すること。

第 5 章 附属機関

(附属機関)

第 63 条 法令又は条例の定めるところにより設置された附属機関の名称、目的及びその主管課は、次のとおりとする。

(抜粋)

主管課	名 称	目 的
文化財課	広島県博物館協議会	広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し、教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べること。

附 則（平成 29 年 3 月 23 日教育委員会規則第 2 号）

この教育委員会規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(6) 広島県博物館協議会条例

平成 13 年 3 月 26 日

広島県条例第 3 号

(設置)

第 1 条 広島県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に、広島県博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第 2 条 協議会は、委員 15 人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 4 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 6 条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例（昭和 43 年広島県条例第 38 号）は、廃止する。

(広島県立歴史博物館設置条例の一部改正)

3 広島県立歴史博物館設置条例（平成元年広島県条例第 23 号）の一部を次のように改正する。

第 7 条を削り、第 8 条を第 7 条とする。

利 用 案 内

■ みよし風土記の丘

開園時間… 9:00～17:00 年中無休・入園無料

■ 歴史民俗資料館

開館時間… 9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)

休 館 日… 月曜日 (祝・休日の場合は開館)

※月曜日が祝・休日の場合は開館し、この日以降最も近い平日 (土曜日を除く) に休館します。

年末年始 (12月28日～1月4日)

入 館 料… 一 般 200 円 (160 円)

大 学 生 150 円 (120 円)

高校生以下及び満 65 歳以上 無料

※ () は 20 人以上の団体料金

※特別企画展は別料金です。

※学校教育活動として、所定の手続により入館する高等学校までの園児・児童・生徒の引率者は、常設展及び特別企画展の入館料が免除されます。また、常設展には他にも、入館料の各種免除規定があります。

※その他、資料館と風土記の丘の利用に当たっては、気軽に資料館に御相談ください。



● 歴史民俗資料館まで

(自家用車) 三次 I.C から約 10 分

三次東 JCT・I.C から約 20 分

三良坂 I.C から約 10 分

(タクシー) 三次駅から約 15 分

(バス) 三次駅から廻神経由三和支所行、あるいは上田小跡行に乗車、風土記の丘入口下車 (日・祝日運休)

(J R) 神杉駅下車徒歩約 3 km

● 風土記の丘まで

神杉駅から風土記の丘北口まで 1.5km

広島県立みよし風土記の丘
みよし風土記の丘ミュージアム
(広島県立歴史民俗資料館)

年報 第37号 ー令和4年度ー

発行日 令和6年2月7日

編集・発行 広島県立歴史民俗資料館

〒729-6216 広島県三次市小田幸町122

TEL (0824) 66-2881 FAX (0824) 66-3106

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekimin/>